

平成30年度 看護統合演習Ⅰ 成人看護学領域 スケジュール (学生配布資料2/2)

1. 対象学生 : 約130名 (1グループ約26名×5グループ、9ベッド使用、学生2~3名/1ベッド)

2. 演習日と演習グループ

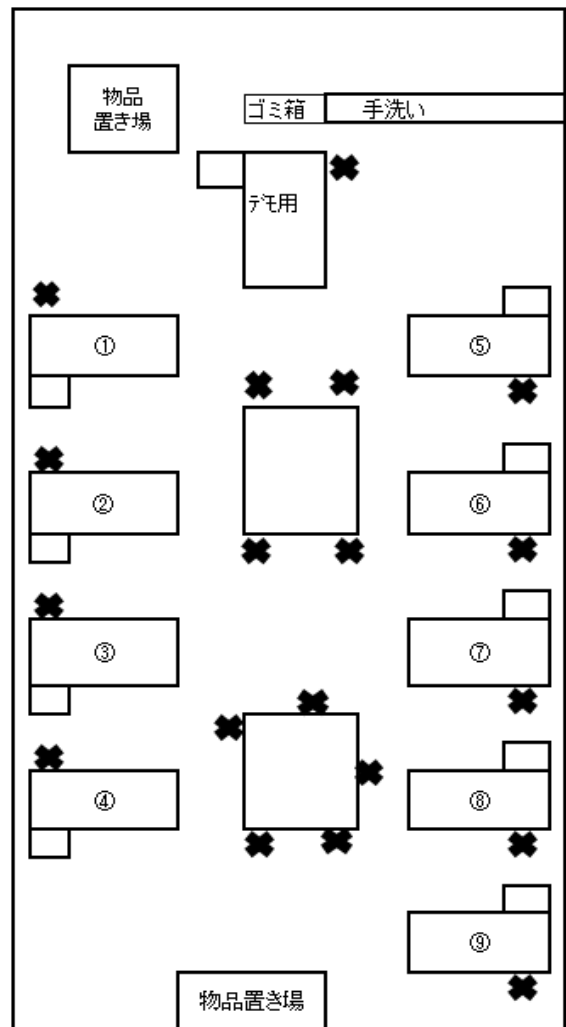
	1・2限	3・4限
4月 6日(金)	D	B
4月 9日(月)	C	
4月 10日(火)	A	
4月 11日(水)※	E	

※4月12日(木)変更の可能性があります

3. 演習のスケジュール(2コマ 180分)

4. 看護統合演習配置図(基礎看護実習室)

スケジュール	
10分	手洗い・身だしなみ・出席確認
30分	演習目的・目標の確認 成人演習の内容説明 ・演習のスケジュールについて ・役割分担について ・実施上の注意点 ・デモンストレーション
15分	学生カンファレンス(1回目) <内容> ※司会者・書記を決めて実施する ・演習目的達成のためには、何を理解し、どのような行動が必要かを事例を用いて具体的に述べる ・各自の行動計画を発表し、演習目的達成のための学生の行動を共有する ★ポイント ①病態と薬剤使用目的が理解できる ②演習過程に沿って具体的に安全で的確な行動が理解できる ・患者の観察のポイントが分かる ・患者への説明は具体的な言葉で言える ・安全・正確な側管点滴を行う必要性を理解できる ・患者の訴えがあった時の対応を言える
30分	1人目実施 患者役と看護師役は学生
30分	2人目実施 (2人のグループは教員が看護師役)
30分	3人目実施
20分	学生カンファレンス(2回目) <テーマ> ※司会者・書記・発表者を決めて実施する 「急性期の心筋梗塞患者の観察と、症状安定に向けてニトロール入り生理食塩液100mlの側管点滴を正確・安全に行うためには」 <カンファレンスの進め方> 1. 演習過程の項目順に重要なことを挙げていく ・演習過程に沿って、分かったこと、気づいたことをディスカッションする ・事例の病態、薬剤使用の目的を理解して演習に臨んだか、事例の病態を理解した上でバイタルサイン・全身状態を観察できたか、患者が安心して治療を受けられるよう配慮した説明、言葉かけを行ったか、など 2. 評価、実習に向けての自分の課題を明確にする ★ポイント 1回目と同じ。各自のチェック、実習に向けての課題が分かる
15分	発表・まとめ



●: 点滴スタンド